

防除時期	使用薬剤名	水 100ℓ 当りの量	散布量	使用回数	FRAC (殺菌)	IRAC (殺虫)	対象主要病害虫	備考
1 定植時 4月上旬	アクタラ粒剤5 オリゼメート粒剤		1g/株 5g/株	1回 1回	P2	4A	アブラムシ類、トマトハモグリバエ、 コナジラミ類 斑点細菌病	
2 定植から 20日後	展着剤(ハイテンパワー) コルト顆粒水和剤 ダコニール 1000	10 ml 25g 100 ml	200ℓ	3回以内 12回以内	M5	9B	アブラムシ類、コナジラミ類 べと病、うどんこ病、炭そ病、 褐斑病、灰色かび病、黒星病	
3 5月中旬	展着剤(ハイテンパワー) ダントツ水溶剤 ダニサラバフロアブル セイビアーフロアブル 20	10 ml 50g 100 ml 100 ml		3回以内 2回以内 3回以内	12	4A 25A	アブラムシ類、ミナキイロアザミウマ、 コナジラミ類、カメムシ類、ハダニ類 褐斑病、灰色かび病、菌核病	
特別	トップジン M ペースト	原液 塗布		5回以内	1		つる枯病	接ぎ木部を中心に塗布する
4 5月下旬	展着剤(まくぴか) トランスフォームフロアブル トップジンM水和剤 ジマンダイセン水和剤	30 ml 50 ml 66g 166g	300ℓ	2回以内 5回以内 3回以内	1 M3	4C	アブラムシ類、コナジラミ類 つる枯病、うどんこ病、炭そ病、 黒星病、灰色かび病、菌核病、 べと病、褐斑病、疫病、斑点細菌病	
5 6月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ベルコート水和剤 モベントフロアブル	10 ml 50g 50 ml		7回以内 3回以内	M7	23	うどんこ病、炭そ病 灰色かび病、褐斑病 アブラムシ類、コナジラミ類、 ハダニ類、アザミウマ類	べと病の発生が心配される場 合は、「ベルコート」に代えて 「プロポーズ顆粒水和剤」 (1,000 倍)を散布する
6 6月中旬	展着剤(まくぴか) スピノエース顆粒水和剤 ダコニール 1000 トップジン M 水和剤	30 ml 20g 100 ml 66g		2回以内 12回以内 5回以内	M5 1	5	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ウリノメイガ、 褐斑病、べと病、うどんこ病 つる枯病、炭そ病、菌核病、 灰色かび病、黒星病	褐斑病等の発生が懸念される 場合は、「トップジン M 水和剤」に 代えて「ゲッター水和剤」(1,500 倍)を散布する。
7 6月下旬	展着剤(まくぴか) ウララ DF カーニバル水和剤	30 ml 50g 100g	300ℓ	3回以内 3回以内	40+M5	29	アブラムシ類、コナジラミ類 褐斑病、べと病、炭そ病、うどんこ病	ハダニの発生がある場合は、 「ダブルフェースフロアブル」 (2,000 倍)を加用する。
特別	トップジン M ペースト	原液 塗布		5回以内	1		つる枯病	接ぎ木部を中心に塗布する
8 7月上旬	展着剤(ハイテンパワー) コロマイト乳剤 プレオフロアブル ダイパワー水和剤	10 ml 100 ml 100 ml 100g		2回以内 2回以内 5回以内	M4+M7	6 UN	ハダニ類、ウリノメイガ、アザミウマ類、 ハモグリバエ類 べと病、うどんこ病、炭そ病、褐斑病	アブラムシ類、コナジラミ類が多 い場合は、「プレオフロアブル」に 代えて「アルハリン顆粒水溶 剤」(2,000 倍)を散布する。
9 7月上～ 中旬	展着剤(まくぴか) ヨーバルフロアブル ジマンダイセン水和剤	30 ml 40 ml 166g	300ℓ	3回以内 3回以内	M3	28	コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類、 ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、ウリノメイガ べと病、炭そ病、褐斑病、つる枯病、 斑点細菌病、疫病、黒星病	
10 7月中旬	展着剤(ハイテンパワー) コテツフロアブル モベントフロアブル プロポーズ顆粒水和剤	10 ml 50 ml 50 ml 100g		3回以内 3回以内 3回以内	40+M5	13 23	ウリノメイガ、ウリハムシ、ミナキイロアザミウマ、 ミナキイロアザミウマ、アブラムシ類、 コナジラミ類、ハダニ類、アザミウマ類 うどんこ病、べと病、黒星病、褐斑病	
11 7月下旬	展着剤(まくぴか) トレボン乳剤 オーソサイド水和剤80	30 ml 100 ml 166g		3回以内 5回以内	M4	3A	アブラムシ類、コナジラミ類、 べと病、炭そ病、褐斑病、つる枯病	ハダニの発生が心配される場 合は「マイトコーネフロアブル」 (1,000 倍)を加用する。
12 8月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ディアナ SC ゲッター水和剤	10 ml 40 ml 66g	300ℓ	2回以内 5回以内	10+1	5	アザミウマ類、ハモグリバエ類、 ウリノメイガ、コナジラミ類 褐斑病、炭そ病、灰色かび病、菌核病	アブラムシ類の発生が心配さ れる場合は、「トランスフォームフロア ブル」(2,000 倍)を加用する。
13 8月中旬	展着剤(ハイテンパワー) カネマイトフロアブル ウララDF ダコニール1000	10 ml 100 ml 50g 100 ml		1回 3回以内 12回以内	M5	20B 29	ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類、 べと病、うどんこ病、炭そ病、 褐斑病、灰色かび病、黒星病	
14 8月下旬	展着剤(ハイテンパワー) ダントツ水溶剤 ベルコート水和剤	10 ml 50g 50g		3回以内 7回以内	M7	4A	アブラムシ類、ミナキイロアザミウマ、 コナジラミ類、カメムシ類 うどんこ病、炭そ病 灰色かび病、褐斑病	

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 顆粒水溶剤 → 水溶剤 → フロアブル → ドライフロアブル(DF) → 顆粒水和剤(WDG) → 水和剤

* 気象条件や管理、品種等により発生病害虫が変わるので、病害虫防除基準を参考に状況変化に対応して下さい。

* アミスター20フロアブル、アミスターオプティフロアブルは、浸透性のある展着剤(ニーズ、アプローチBL、ミックスパワー等)とは混用しない。

* IRAC・FRAC コード番号が連続しないように防除を組む。ただし、「UN」と記載のある薬剤は連用可能

当防除暦の複製・コピーを禁止します

	防除時期	使用薬剤名	水 100ℓ 当りの量	散布量	使用回数	FRAC (殺菌)	IRAC (殺虫)	対象主要病害虫	備考
1	定植時 8月上旬	アクタラ粒剤5 オリゼメート粒剤		1g/株 5g/株	1回 1回	P2	4A	アブラムシ類、トマトハモグリバエ、 コナジラミ類、斑点細菌病	
2	8月下旬 ～ 9月上旬	展着剤(ハイテンパワー) コルト顆粒水和剤 ダコニール 1000	10mℓ 25g 100mℓ	200ℓ	3回以内 12回以内	M5	9B	アブラムシ類、コナジラミ類 べと病、うどんこ病、炭そ病、 褐斑病、灰色かび病、黒星病	
3	9月中旬	展着剤(まくぴか) ウララDF トップジンM水和剤 ジマンダイセン水和剤	30mℓ 50g 66g 166g		3回以内 5回以内 3回以内	1 M3	29	アブラムシ類、コナジラミ類、 つる枯病、うどんこ病、炭そ病、 黒星病、灰色かび病、菌核病、 べと病、褐斑病、疫病、斑点細菌病	
	特別	トップジン M ペースト	原液 塗布		5回以内	1		つる枯病	接ぎ木部を中心に塗布する
4	9月下旬	展着剤(ハイテンパワー) モベントフロアブル ベルコート水和剤	10mℓ 50mℓ 50g	300ℓ	3回以内 7回以内	M7	23	アブラムシ類、コナジラミ類、 ハダニ類、アザミウマ類 うどんこ病、炭そ病 灰色かび病、褐斑病	べと病の発生が心配される場 合は、「ベルコート」に代えて 「プロポーズ顆粒水和剤」 (1,000倍)を散布する
5	10月上旬	展着剤(まくぴか) コルト顆粒水和剤 カーニバル水和剤	30mℓ 25g 100g		3回以内 3回以内	40+M5	9B	アブラムシ類、コナジラミ類 うどんこ病、褐斑病、炭そ病、べと病	褐斑病等の発生が懸念される 場合は、「カーニバル水和剤」に 代えて「ゲッター水和剤」(1,500 倍)を散布する。
6	10月中旬	展着剤(ハイテンパワー) プレオフロアブル ダイパワー水和剤	10mℓ 100mℓ 100g		2回以内 5回以内	M4+M7	UN	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ウリノメイガ べと病、うどんこ病、炭そ病、褐斑病	アブラムシ類、コナジラミ類が多 い場合は、「プレオフロアブル」に 代えて「アルバリン顆粒水溶 剤」(2,000倍)を散布する。
7	10月下旬	展着剤(まくぴか) ジマンダイセン水和剤	30mℓ 166g		3回以内	M3		べと病、炭そ病、褐斑病、つる枯病 黒星病、斑点細菌病、疫病	
8	11月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ダコニール 1000	10mℓ 100mℓ		12回以内	M5		べと病、うどんこ病、炭そ病、 褐斑病、灰色かび病、黒星病	

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 顆粒水溶剤 → 水溶剤 → フロアブル → ドライフロアブル(DF) → 顆粒水和剤(WDG) → 水和剤

* 気象条件や管理、品種等により発生病害虫が変わるので、病害虫防除基準を参考に状況変化に対応して下さい。

* アミスター20フロアブル、アミスターオプティフロアブルは、浸透性のある展着剤(ニーズ、アプローチBL、ミックスパワー等)とは混用しない。

* IRAC・FRACコード番号が連続しないように防除を組む。ただし、「UN」と記載のある薬剤は連用可能

当防除暦の複製・コピーを禁止します